

コンテナいちじくの特産化への取組み支援

南加賀農林総合事務所

南加賀農林総合事務所では、実需者から特色ある地元産フルーツを求める声や、水稲農家から米価下落の対策として補完的品目を導入したいとの相談があったことから、平成29年度から水稲育苗ハウスの遊休期間を活用したコンテナいちじく栽培を推進しています。

品種は、一般的に栽培されている「柵井ドーフィン」ではなく、小粒で糖度が高く、皮ごと食べられる希少品種「コナドリア」を採用し、試験栽培を開始しました。しかし、着果しない樹が多く見られたことから、生産者とともに先進地視察や現地試験を行うなど、着果安定に取り組んでいます。

また、令和元年の試験販売以降、道の駅等への出荷量が増えてきたことから、品質統一のために収穫適期表や選別基準表を作成しました。令和4年度からはさらなる販路拡大と認知度向上に向けて共同出荷を開始しています。

令和5年現在、生産者は小松市～川北町の計10戸に拡大し、地元洋菓子店等では「コナドリア」を使った商品も販売されるようになりました。

今後もコンテナいちじくが特産品となるよう支援していきます。



柵井ドーフィン コナドリア



水稲育苗ハウスを活用した
コンテナいちじく栽培

問い合わせ先：農業振興部（0761-23-1703）